

支部協だより

第148号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 TEL.098-870-7101
 FAX.098-875-7450
 責任者
 瀬良垣 武安

うるま市市長選挙に向けて



退職者の会 沖縄県支部協議会

会長 瀬良垣 武安

うるま市市長選挙・四月二十三日では、情報労連沖縄県協をはじめ、連合沖縄、退職連合、N労退職者の会、その他多くの労組組織が支援をすることとしています。まずは「山内スエコ」市長予定候補の基本政策をお知らせ致します。

○子育て支援、子どもの貧困対策の拡充、医療、福祉、教育の充実を図り、市民本位の市政運営に努め、市民が輝くうるま市をつくり出します。

○具志川、石川、勝連、与那城の地域格差をなくし、均衡ある発展を実現します。

○うるま市の豊かな自然、歴史、文化、伝統芸能を活



山内スエコ

かした観光振興を図り、農業、畜産業者の生活を支え地元生産物を拡充します。

○積極的な企業誘致の促進、中小零細事業者をはじめ市内業者の支援育成、公共事業の分割、地元優先発注を徹底して地元経済の活性化を図り、雇用の場を創出します。

○日本国憲法の理念と憲法九条を守ります。日米地位協定の全面改定に取り組み、市民の生命財産を守ります。

○あらゆる基地被害の解消に努めます。オスブレイ配備撤回、普天間基地の閉鎖撤去に努めます。辺野古新基地建設の断念、高江ヘリパット撤回を実現させて、市民、県民の安心、安全を守ります。

※翁長県知事と連携し、右記の基本政策実現のため全力を尽くします。

日本全国の国土面積の〇・六%しかない沖縄県に米軍専用施設の七四%が押しつけられている不条理に対し、大多数の沖縄県民が怒りを露わにしているにもかかわらず、またこの間に行なわれた名護市長選挙、県知事選挙、衆議院議員選挙、参議院議員選挙において絶対

多数の票差でもって完全勝利した県民の民主的な民意をも完全に無視し、辺野古新基地建設が強行され、オスブレイの名護市安部での墜落事故、米軍ヘリによるつり下げ訓練の危険な実態等に対して強い抗議すらしない安倍自公政権である。むしろ容認するがごとの対応が最大の混乱の原因であります。これまでの市長選挙で、県内の保守系市長の九市の市長会（那覇市、名護市以外の市長）は自公政権と一緒にあって、翁長県政、オール沖縄の民意の分断を図るために、国政選挙並みに総動員してのテコ入れを行なっています。

従って今度のうるま市の市長選挙は「山内スエコ」市長予定候補の基本政策を実現するためにも、うるま市在住の会員のみならず全県内会員のご家族、友人、知人の皆様による、うるま市在住者へのご支持拡大の取り組みをお願い致します。

2017年九州ブロック協議会
 安里 優

2017年九州ブロック協議会が3月8日14時〜3月9日11時まで、熊本市の三

井カーデンホテル熊本において開催されました。

1日目は、司会による開会挨拶の後、佐々木中央協議会副会長の挨拶、続いてNTT労組九州総支部田畑委員長挨拶、福祉事業体（電通共済生協高田専務理事・瀧口共済審査部担当部長・労連共済本部田中業務管理部長・きらら保険サービス高橋常務取締役・萱沼営業企画部長）の挨拶並びに各事業体の現状について説明がありました。

その後、15分間の休憩を挟み、前もって中央協から出されていた各支部協の取り組み・課題等について報告を行いました。

各支部協からの報告を基に論議を行い、今後の活動に活かしていくこととしていきます。

他の支部協からの報告については、紙面の都合上割愛させていただきますが、沖縄県支部協と他の支部協との取り組みの主なちがいは以下のとおりです。

1. 役員体制と幹事会の当番体制について
 沖縄県支部協は他の支部協と異なり、幹事会を毎月第1月曜日の午前10時から12時まで開催しており、当番体制についても幹事会メンバー13名全員のローテーションで実施しています。また、年1回、幹事会メンバー13名全員参加での宿泊研修を実施。機関紙（支部協だより）は毎月発行、郵送で会員全員に配布しています。
 2. 会員拡大の取り組み
 年度末退職予定者全員を対象にグル連の福祉アドバイザーと一緒に個別対応で加入申込書を書いていただいています。
 3. 福祉関係について
 沖縄県支部協独自の制度として「ゆいまる」があります。内容については、①（病気・ケガで2ヶ月以上入院した場合）の見舞金、②生年祝金（73歳、85歳、97歳）、③死亡見舞金（本人死亡、配偶者死亡）となっています。
- 1日目終了後、夕食懇親会がありました。
- 2日目は、第24回参議院議員選挙の総括について、①中央協よりアンケート調査結果の説明、②各支部協から参議院選挙の市町村ごとの得票状況を資料をもとに報告、③意見交換を行いました。

ごあいさつ

もっとしなやかに もっとパワフルに!

山内スエコ

拝啓、NTT労組退職者の会・会員の皆様。

私「山内スエコ」は、来る4月23日に行われます「うるま市長選挙」に出馬することを決意いたしました。一人一人の市民を大切に温かく優しい市政を作ることにより無限の可能性を秘めたうるま市は、夢と笑顔あふれる街に大きく生まれ変わります。

身全霊をかけます。「うるま市」の名に込められた未来へ飛躍し沖縄の心を世界へ発信するという願いを達成するチャンスです。

旧2市2町の「特色ある歴史、伝統文化、芸術、技術・自然、人の輪」が融合し、パワフルな市民が輝くうるま市をつくるために全力を尽くしてまいります。

私「山内スエコ」は戦後沖縄の政治、経済、教育、文化、芸能、食の発祥地この「うるま市」を今こそ新たな沖縄の中心、センターにするためにあらゆるネットワークを駆使し、「うるま大改革」を市民の皆様の手を信じて全力で取り組んでまいります。



もっとしなやかに
もっとパワフルに!
山内スエコ

*プロフィール
うるま市石川生まれ 石川高校卒業 帝京大学卒業
うるま市議会議員4期(副議長)
沖縄県議会議員3期、総務企画委員長、経済労働委員長
長歴任

ただ今現役

生き生き通信

書道と共に四〇年、 更に精進。

垣花 廣光 78歳

(かきのはな・ひろみつ)



んだ。女房とは全通時代に知り合ったんだ。当時彼女は婦人部長だったんだ。それも書くの？

○最後の職場はどこだったんですか。

「もう忘れたよ、たしか1999年楚辺ビルのマルチメディア担当だったかな。60歳で退職だったよ、その後3割カットとか、なんやら大変だったらしいな。」

○運がよかった。

「そうなんだ、60歳から年金と失業保険両方もらえたよ。」

○最後の恵まれた世代ですね、ところで書道で冲展に入選したそうですね。

「ありがとうございます、もう書道やって40年なる。でもまだまだ今でも佐敷の教室に通って

いるよ」(5〜6年なるらしい)

○体調はどうですか。

「人間ドックにも引っかけたてないし、好調だな。酒は毎日一合ぐらい飲んでる、缶ビールは一本ぐらいか」(笑)

○今後何かやりたい事がありませんか。

「趣味のアマ無線を再開して、辺野古の現況を世界に訴えたい、多忙で辺野古へ行く機会が少ないから、アマ無線で世界に発信したい。」(聞き手 金城)

*第69回冲展が3月18〜4月2日まで浦添市民体育館で開催されている。垣花さんの作品をはじめNTT現・退職者の方々の作品も展示されています。自宅へ「やーぐまいしている貴方」たまには芸術の香りにふれてみては……。



新春企画 ② 琉球史を行く 首里「龍潭裏通り」を歩く 御嶽から龍潭まで、 ゆんたく・ひんたく



3月14日(火)。あいにく天候は不安定だったが参加者は14名、元気よく首里モノレール駅を出発。現在は首里中となっていて、開得大君御殿跡を訪れる。一同敷地の広さに目をみはる。

県道沿いから汀良町のスーパースターに入り、公民館・コムド森・アスイ森に行く。公民館前広場は旧8月15日には獅子舞が披露される場所だ。再び龍潭通りに出て、天王寺前(現首里教会)をへて、後ろ道(すぬみち)と呼ばれるスーパースターに入り、龍潭を横目に沖繩で現存する最古の首里劇場を見ながら、山城まんじゅう屋の近くの交差点で解散した。

なお「歴史散歩サークル」再開にむけてのチンダミグラーはこれで終了し、春・夏にかけてサークルとしての活動を再開します。またサークルに入りた会員は退職者の会まで連絡ください、入会歓迎です。(担当 金城幸男)